

西宮市立大社中学校 部長 テューバ

もともと、大社中学校吹奏楽部の目標は、コンクールで良い賞を得るということではなく「音楽の本当の音楽を味わう」「一つの目標に向かって、本気で頑張ることの大切さを知る」「互いに高め合える仲間作りをする」という三つの目標に向かって頑張ってきました。そして、毎年コンクールを通して、この目標に大きく近づきますが、コンクールのない今年は、今年にしかできない活動でこの目標に向かって取り組んでいます。

また、コロナウィルスによって、当たり前のようにあった部活が何ヶ月も休みになり、そして、今は再会している部活も1週間後、1ヶ月後のことすらわかりません。だからこそ1日1日の何気ない活動の毎日に感謝して、大切にしていかなければならないと感じています。

3年生は、残り5ヶ月もありません。その残りの時間を大切にして「今年だからこそ良かった」と思えるような活動を全員で考えて、創りあげたいです。

雲雀丘学園高等学校 部長

最高学年になった今、残された時間は限られてきました。演奏できる機会が減っていく中で日に日に焦りを感じています。しかし、部員全員が絆、喜びなどを実感できる1年になるように頑張ろうという意気込みは変わりません。昨年度の定期演奏会が中止になり、1年の締め括りができずにいる中で、今年度の定期演奏会では「2年分の集大成」を部活の目標とし、一段と成長した姿を見せられるようにします。現状にめげず、仲間同士助け合い、吹奏楽部を心から楽しめるようにしようと決意しました。そして、コンクール中止という、今年度で引退する私達にとって衝撃的かつ悔しい思いを先輩達が味わわないことを願います。また、私達のコンクールにかけた思いを受け継いでほしいと思います。

限られた時間の中で、目標を失わないように心がけながら、何ができるかを模索して充実した吹奏楽部にしていこうと思います。

雲雀丘学園中学校 中学代表

新型コロナウイルスの影響でコンクール中止の発表があり、約1か月が経ちました。私たち中学3年生にとっては中学生生活最後のコンクールで、目標に向けて練習していたので残念な気持ちでいっぱいです。コンクールは1つの曲ができあがるまでに、半年以上の練習や合奏が必要です。たくさんの時間がかかりますが、曲が完成したときの喜びは何物にも代えがたく、仲間と音楽を創り上げることの素晴らしさを感じさせてくれます。コンクールがなくなってしまう寂しいですが、気持ちを切り替えて、残された中学生としての部活動に向き合いたいと思っています。

まだ合奏はできませんが、今の目標は、基礎練習をしっかりとし、定期演奏会や、来年のコンクールに向けてしっかりと準備をすることです。みんなと音を合わせられる日を楽しみにして、これからの練習を頑張りたいと思っています。

西宮市立浜甲子園中学校吹奏楽部 3年 部長 ホルン

五月、吹奏楽コンクール、そしてマーチングコンテストの中止が発表されました。今年こそは金賞、そしてマーチングでは関西大会出場を目指していたこともあり、もうそのことを目指して努力することも出来ないのだと思うとその時はとても悔しくて、これから何をしていけば良いのかわからず家での練習にも全く身が入りませんでした。

七月、少しずつ部活動が再開していきました。再開して、部員のみんなと演奏する・話す・助け合うなど、こういった当たり前のことができることがどれだけ楽しいことなのかを改めて実感しました。三年生はもう中学生としてはコンクールに出ることは出来ませんが、そのぶん部活動の楽しさと、経験をしっかりと先輩たちに引き継いでいくことが大切だと思っています。そして、私たちに残された時間を悔いのないものし、吹奏楽部での最高の思い出となれるよう最後まで全力で楽しみたいと思います。